

2018年11月号 ぴらたんニュース



京都にちなんだ
話題をお届けします
京 style



～「京ことば」～

台風の影響がまだまだ残る京都ですが、いよいよ紅葉のシーズン到来です。11月は3月に次いで観光客が多い月ですが、今回のテーマはそんな観光客の方がお店に入った際、よく聞く京ことばについてです。

京都では「いらっしゃいませ」を表わす言葉が、二つあります。「おこしやす」と「おいでやす」です。一般的には「おこしやす」の方が丁寧と言われていますが「おこしやす」と「おいでやす」の違いは、字の意味を考えれば良くわかります。「おこしやす」は「お越しやす」。「わざわざ遠方から来て下さいますて…」という気持ちが込められています。一般的には少し改まった場面で使われます。「おいでやす」は「お出でやす」。もう少し気軽に、よく会う人に対して使われます。標準語で言うと「おこしやす」は、ようこそ、お越しくださいました。「おいでやす」は、いらっしゃい！よく来たね。となります。そういう事から、従業員教育の行き届いた旅館では、「おいでやす」より「おこしやす」を使うことが多いでしょう。宿泊客は遠方から来るに決まっていますから。だからといって、「おいでやす」に歓迎の気持ちが足りないわけではありません。先ほどの標準語訳のような意味の違いはありますが、「おこしやす」と「おいでやす」では、言葉としてよく似ているので、標準語ほど明確な差は出ません。京都の人の中にも、「おいでやす」と「おこしやす」を使い分ける人もいれば、特に意識せず、どちらも使う人もいます。



学校の象徴に欠かせない **学校旗**

消防団の士気に欠かせない **消防団旗**

勝利の証に欠かせない **優勝旗**

【取扱商品】

応援団用品 のぼり 染め旗 横断幕 のれん 手拭い ハッピー
太鼓 祭礼幕 ちょうちん 神社仏閣幕 神社のぼり 社名旗
鈴緒 劇団幕 マーチングバンド横幕 タスキ 腕章
ピンバッジ 缶バッジ ワッペン 演台カバー



株式会社 平岩

〒604-0907 京都市中京区河原町通竹屋町上ル大文字町 241

TEL : 075-222-1041 / FAX : 075-222-0843

MAIL : web@kyoto-hiraiwa.co.jp

※ 配信停止をご希望の方はお手数ですが
「配信停止」と記入いただき、ご返信ください

今すぐ
アクセス！ 京都 平岩